

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2013-209539(P2013-209539A)

【公開日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-056

【出願番号】特願2012-81272(P2012-81272)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00	(2006.01)
B 29 C 43/02	(2006.01)
B 29 C 43/34	(2006.01)
C 08 K 3/22	(2006.01)
C 08 L 91/06	(2006.01)
C 08 K 9/02	(2006.01)
C 08 K 9/04	(2006.01)
C 08 J 3/22	(2006.01)
B 29 K 101/12	(2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00	
B 29 C 43/02	
B 29 C 43/34	
C 08 K 3/22	
C 08 L 91/06	
C 08 K 9/02	
C 08 K 9/04	
C 08 J 3/22	C E R
C 08 J 3/22	C E Z
B 29 K 101:12	

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月22日(2014.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性樹脂(A)と、二酸化チタン(B)と、酸価1～30mgKOH/gのワックス(C)とを含み、

前記二酸化チタン(B)が二酸化チタン100重量部を、無機化合物0.5～10重量部でその表面を被覆してなる着色成形用樹脂組成物。

【請求項2】

前記二酸化チタン(B)が、アルミナ、シリカおよびジルコニアからなる群より選択した1種以上の無機化合物でその表面を被覆してなることを特徴とする請求項1記載の着色成形用樹脂組成物。

【請求項3】

前記ワックス(C)の滴点が、60～160であることを特徴とする請求項1または2記載の着色成形用樹脂組成物。

**【請求項 4】**

前記ワックス（C）が、ポリオレフィンワックスであることを特徴とする請求項1～3いずれか記載の着色成形用樹脂組成物。

**【請求項 5】**

前記ワックス（C）の170における粘度が、1～10000mPa・sあることを特徴とする請求項1～4いずれか記載の着色成形用樹脂組成物。

**【請求項 6】**

前記二酸化チタン（B）が、さらにシロキサン化合物、シランカップリング剤および多価アルコールからなる群より選択した1種以上の有機化合物0.001～3重量部でその表面を被覆してなることを特徴とする請求項1～5いずれか記載の着色成形用樹脂組成物。

**【請求項 7】**

請求項1～6いずれか記載の着色成形用樹脂組成物と、希釈用樹脂とを含む着色形品。

**【請求項 8】**

請求項1～6いずれか記載の着色成形用樹脂組成物を溶融混合し、圧縮成型機に投入し、当該圧縮成型機内で剪断力を加えず、圧縮による押し出す力を加えることで成型品を得る工程を含む、成型品の製造方法。